

平成 27 年度「新興国市場開拓等事業費補助金(ミッション・見本市等出展支援事業(ロシア・カザフスタン:ミッション派遣、展示会等を通じた有望分野における市場獲得支援))」:1. ミッション派遣事業 2. 展示会・フォーラム／セミナー等開催事業:
「カザフスタン水ビジネス推進ミッション」

事業報告書

2015 年 10 月
一般社団法人 ロシア NIS 貿易会

1. 課題および目的

平成25年6月14日に閣議決定された日本再興戦略では、海外市場の成長を取り込む「国際展開戦略」を大きな柱の一つに掲げ、経済連携の推進及び官民一体での海外市場獲得の重要性を打ち出している。とりわけ、カザフスタンは石油・天然ガス等豊富な資源を背景とした力強い経済成長を続けており、将来的に市場規模の拡大が見込める市場として評価が高い。

しかし、日本とカザフスタンとの経済関係は、現状、比較的順調に拡大しているものの、資源依存型という相手国の経済構造の特性も影響し、貿易は日本の資源輸入と日本からの機械や自動車等の輸出に偏重、投資の伸びもごく緩やかなものに留まっている。特に、カザフスタンが日本からの高度技術の導入による自国産業の高度化、国民生活の質的向上を図ることに強い関心を抱いているにも関わらず、日本からの技術移転はほとんど進んでいない。日本の強みである高度ハイテク技術の提供を通じてこうした現地側の希望に応えることは、日本企業にとってビジネスチャンス創出と新しい市場の獲得に繋がり、二国間の経済関係発展、ひいては日本経済の成長に資するものとなる。

以上の認識に鑑み、本事業では、カザフスタンにおいて、日本のハイテク分野、とりわけ日本が国際競争力を有する水・環境技術（水ビジネス、省エネ・省資源、再生可能エネルギー、廃棄物処理等）の導入を目指し、ビジネスミッションの派遣やミニ展示会・見本市等の開催（またはそれらへの出展）、それらに合わせたフォーラム、セミナー等の効果的な開催により、日本の製品・技術力の発信を一体的に実施し、二国間の経済関係発展に資することを目的とする。

2. 実施概要

カザフスタンの首都、アスタナ、アティラウ、アクトベ等、訪問各地で水・環境分野に関わる日本の高度技術を紹介する展示会・プレゼンテーションを開催するとともに、カザフスタン企業との商談、水関連施設の視察等を行った。

(1) 派遣人数

社内、外部専門家、通訳等を含め総勢9名（現地参加、一部参加を含む）

(2) 旅程およびプログラム

	日付	時間	概要	宿泊地
1	10/24 (土)	07:40 09:50 18:50	アシガバード発(TK325) イスタンブール着 イスタンブール発(TK354)	アスタナ
2	10/25 (日)	02:35	アスタナ着 水関連技術展示会準備	アスタナ
3	10/26 (月)	13:00 15:00	アスタナ市住宅建設現場視察 水技術プレゼンテーション兼商談会	アスタナ
4	10/27 (火)	14:00	◆水関連技術展示会(日本・カザフスタンビジネスフォーラム)	アスタナ
5	10/28 (水)	08:30 10:00 11:20 12:35 14:00 15:10 15:30 16:30 20:20	アスタナ発(KC981) アティラウ着 経済特区「国営石油化学工業団地」視察 ・ポリマープロダクツ訪問 ZhigeruMunaiService 訪問 Direct Construction Service 訪問 アティラウ州政府訪問 水技術プレゼンテーション アティラウ市浄水場(Atyrau Su)見学 アティラウ発(KC886)	アルマトイ
6	10/29 (木)	00:05 11:55 13:40 15:00 16:40 17:25	アルマトイ着 アルマトイ発(KC863) アクトベ着 水技術プレゼンテーション兼商談会(於: Ak Bulak) アクトベ市下水処理場見学 アクトベ市浄水場見学	アクトベ
7	10/30 (金)	10:00 14:40 18:10 23:15	アクチュビンスク州政府訪問 アクトベ発(KC864) アルマトイ着 アルマトイ発(OZ578)	機内泊
8	10/31 (土)	07:55 10:00 12:10	仁川着 仁川発(OZ104) 成田着	

宿泊先:

◆Radisson Hotel, Astana (アスタナ)
住所: Sary Arka street, 4-010000-Astana, Kazakhstan
TEL: +7-7172-670-777 FAX: +7-7172-670-999

◆Hotel Complex Otrar (アルマトイ)
住所: 73, Gogol Street, Almaty, Kazakhstan

TEL : +7 (7272) 50 68 06 FAX : +7 (7272) 50 68 09

◆Dastan Hotel (アクトベ)

住所 : 2, Bogenbay Batyr str., 030008, Aktobe

TEL : +7(7132) 90 10 00 FAX : +7(7132) 231-235

(3)主な実施記録

◆水ビジネスプレゼンテーション兼商談会

日時 : 2015年10月26日(月) 15:00~17:30

場所 : ラディソンホテル アティラウホール

カザフスタン側出席者 :

- A.I.ベックジノフ TOO「プレハブ住宅・施設工場」社長
- M.D.ポタポフ TOO「AltairStroi」社長
- R.T.ラマザノフ 「カザフスタン建設者同盟」事務局長
- O.O.ハルベディヤ TOO「NK-CARGO」社長
- O.N.ゴステヴァ TOO「SK ソトロイクラス」社長
- D.V.クラスノシチェンコフ OOO「テクノヒムレアгентベル」副社長
- K.A.カリムバエフ TOO「NovoTechProm」社長
- O.B.マリノフスキー TOO「ビーコム・エンジニアリング」社長
- S.O.バザロフ TOO「ビーコム・エンジニアリング」副社長
- F.D.カルタエヴァ TOO「ビーコム・エンジニアリング」エンジニア
- Sh.N.リハノフ カザフスタン建設者協会アスタナ支部代表
- M.D.ベセムベコフ TOO「NuraiStroi カンパニー」部長

◆水ビジネス促進展示会(日本・カザフスタンビジネスフォーラム)

日時 : 2015年10月27日(火)

場所 : リクソスホテル ホール「ジェリュク」ホワイエ

来場者 : 約400名(フォーラム参加者)

展示企業 :

- 三菱レイヨン
- インターアクティブ
- 神栄

◆経済特区「国営石油化学工業団地」視察

日時 : 2015年10月28日(水) 11:20~12:10

場所 : Polymer Production

面談者 : Zh.バルタバエフ 副社長

会社説明→工場視察

- ・ 経済特区「国営石油化学工業団地」は2007年に設立され、石油化学産業を中心とした経済特区。
- ・ ポリマープロダクツは100%カザフスタンの企業であり、ポリ袋(4,800万トン/年)、PEフィルム(4,000トン/年)、BOPPフィルム(11,000トン/年)を生産する企業で

あり、ポリ袋の生産と PE フィルムの生産はすでに今年の 6 月に始まっており、BOPP フィルムの生産は今年の 11 月にオフィシャル操業を開始予定。

- ・ 原料となるポリマーは欧州及びロシアから輸入しているが、将来的には特区内にガス化学コンプレックスを創設し、自国で供給できるようにする。
- ・ 生産設備は主にオーストリアとドイツ製を採用している。
- ・ 工場の建設そのものはカザフスタンの建設業者が請け負い、設備の据え付けは欧州の企業がそれぞれ行った。
- ・ PE フィルムの設備はドイツ製。
- ・ 従業員は約 370 人。そのうち 150 人が技術者で 3 交代制を採っている。経営者・管理者などの幹部にはロシア人がいるが、残りはすべてカザフスタン（地元）の人を採用。

◆ZhigerMunaiService

日時：2015 年 10 月 28 日（水）12:35～13:35

場所：ZhigerMunaiService

面談者：A.M.ドゥイサリエフ 社長
R.ムハトフ 掘削技術局局長

視察→先方プレゼンテーション

- ・ EPC、ボーリング用設備のレンタル、生産およびメンテナンスを行うサービス会社。
- ・ カザフスタンの民間企業。
- ・ 材料となるパイプは中国製および KSP Steel 製。ドリルヘッドは自社で生産。
- ・ アティラウ市内で下水処理水を再利用し、工業用水として利用するための設備を設立する予定がある。アティラウで使う工業用水については、現在、アクタウを経由してロシアから運ばれているが、これを自国で生産しようという考え。
- ・ すでに入札は住んでおり、スペインの Eurofinsa と協力予定。
- ・ 実際にそこで生産する工業用水を必要とする顧客がいればすぐに設置を開始する。現在、経済特区内で石化コンプレックスを設立する計画があり、これが実現すれば顧客となることは間違いないだろう。

◆Direct Construction Service

日時：2015 年 10 月 28 日（水）14:00～14:15

◆アティラウ州政府訪問・水ビジネスプレゼンテーション

日時：2015 年 10 月 28 日（水）15:00～15:30

場所：州政府庁舎

面談者：Sh.Zh.ムカン 副知事（知事代行）
A.K.バイシャハノフ エネルギー・住宅公共政策局 局長
Ye.A.ガルイムジャノフ 建設局 局長
P.ハサノフ アティラウ市長 官房長官
U.S.カマロフ アティラウ市住宅公共政策部 部長
R.K.クルメトフ Atyrau Su 主任技師
V.I.スシチェンコ Atyrau Su 副社長
他、約 15 名

州知事代行挨拶→代表団挨拶・訪問主旨説明→プレゼンテーション→質疑応答

- ・ 日本からの投資は 50 億ドル、日本とカザフスタンの貿易は 20 億ドル、アティラウ州との貿易が 3 億ドルで、これは前年の 4 倍の金額。同州に登録している日本企業は 4 社あり、丸紅、INPEX などがある。
- ・ 先日の安倍総理訪問および日カビジネスフォーラムの開催に当たって、ナザルバエフ大統領は日本とカザフスタンとの間に共通点が多いことを指摘し、ぜひ日本の投資家に参入してほしいといことを述べていた。
- ・ 今回のミッションは水ビジネスの専門家ということで、州および市の水の専門家に集まってもらった。プレゼンテーションの後には施設の視察も用意している。

◆Atyrau Su 訪問

日時：2015 年 10 月 28 日（水）16:45～17:15

場所：アティラウ市浄水場

案内：A.K.バイシャハノフ エネルギー・住宅公共政策局 局長

R.K.クルメトフ Atyrau Su 主任技師

V.I.スシチェンコ Atyrau Su 副社長

他、数名

◆Ak Bulak 訪問

日時：2015 年 10 月 29 日（木）15:00～

場所：Ak Bulak

面談者：A.サギエフ 社長

G.A.ドゥダコフ アクトベ市長顧問（建設担当）

他、約 25 名

プログラム：

表敬面談→プレゼンテーション→質疑応答→浄水場・下水処理場視察

◆アクチュビンスク州政府

日時：2015 年 10 月 30 日（金）10:00～10:30

面談者：M.S.ジュマガジエフ 副知事

A.ベクニヤゾフ エネルギー・住宅公共政策局 副局長

副知事挨拶・コメント

- ・ 今回の訪問については事前に聞いていた。州への訪問を歓迎する。
- ・ アクチュビンスク州はカザフスタンの中で最もダイナミックに発展している州の一つ。
- ・ 訪問のテーマである水技術は最も深刻な問題の一つである。すでに昨日の面談で現地の専門家から話を聞いたと思うが、協力できることはできる限りしていきたい。先日の日本とカザフスタンの両首脳の間でも技術交流について話題が挙がったと聞いている。日本側からの提案があれば、積極的に検討していきたい。
- ・ 本日の訪問・面談については出張中の知事にもちゃんと報告しておく。
- ・ 今後、水技術の提案について話を進めていく場合には、同席しているエネルギー・住宅公共政策局と連絡を取ってほしい。

以上